

「X-LAB サマー・プログラム」が 柏の葉オープンノベーションラボ (KOIL) で開催

隈研吾氏(東京大学教授)、出口敦氏(東京大学教授)、阿部仁史氏(UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校) 教授、X-LAB at UCLA 代表)により立ち上げられた「X-LAB^(※) サマー・プログラム」が、2017年7月30日より柏の葉(千葉県柏市)等で開催されます。本プログラムは、三井不動産株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信)協賛のもと、これからの社会における建築の役割を考える、学際的かつ国際的な2週間の集中講座です。

本プログラムは、先進的な建築教育をしている世界各国の大学から選抜された学生が、ふたつのスタジオ(グループ)に分かれて、建築の境界をどのように拡張していくか追求していくもので、公・民・学が連携しオープンノベーションでビジネスを生み出す KOIL を拠点とし開催されます。

また、デジタル・テクノロジー、ビジネス、科学など、多岐にわたる領域から研究者や実務者を招聘。スタジオ(グループ)と並行して、霞が関ビルディングをはじめとするさまざまな会場で、国際的・学際的な著名登壇者らによるレクチャー、セッション等の公開プログラムも開催し、建築の役割をどこに求めていくのか、最先端の取り組みを行う国内外のゲストとともに考えます。

※「X-LAB」とは、UCLA 建築・都市デザイン学科の建築領域の拡張をリサーチするために2017年に開設されたシンクタンク。

境域横断的なコラボレーションによって、未来環境構築のための建築や都市デザインの戦略研究を目的としている。

■開催概要

共催：X-LAB at the University of California, Los Angeles

東京大学建築学専攻、東京大学社会文化環境学専攻
株式会社新建築社

協賛：三井不動産株式会社

会期：2017年7月30日(日)～8月12日(土)(計14日間)

会場：KOIL(柏の葉オープンノベーションラボ、千葉県柏市)

柏の葉カンファレンスセンター(千葉県柏市)

霞が関ビルディングプラザホール(東京都千代田区)

東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)

慶応義塾大学三田キャンパス(東京都港区)他

ディレクター：隈研吾(東京大学 教授)

出口敦(東京大学 教授)

阿部仁史(UCLA 教授)

スタジオリーダー：

ジェフリー・イナバ(UCLA アジャクト・プロフェッサー、コロンビア大学 GSAPP C-LAB 創設者)

平野利樹(Toshiki Hirano Design、東京大学建築学専攻助手)

キヴィ・ソタマー(アアルト大学デジタル・デザイン・ラボ創設者)

カズ米田(Bureau0-1 代表、慶應義塾大学 SFC 政策・メディア研究科特任助教)



左より出口敦氏、阿部仁史氏、隈研吾氏(撮影:新建築編集部)

(次頁へ続く)

スタジオ・プログラム 参加学生所属校(大学名、順不同):

<北米>カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)、ハーバード大学デザイン大学院(GSD)

<欧州>英国建築協会附属建築学校(AA スクール、英国)、スウェーデン王立工科大学(スウェーデン)、IE スクール(スペイン)、コンフルエンス・インスティテュート(イタリア)

<アジア>香港大学(中国)、シンガポール工科大学(SUTD、シンガポール)、国立交通大学(台湾)

<日本>東京大学、慶應義塾大学、東北大学、東京工業大学、横浜国立大学、早稲田大学

プログラムの詳細(URL): <http://www.japan-architect.co.jp/xlabss/>

■ 柏の葉オープンイノベーションラボ(KOIL)



2014年4月に千葉県柏市のつくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅前にオープン。1名から利用可能なコワーキングスペース、様々な面積バリエーションの小規模オフィス、100名規模の大規模オフィス、イベントスペース、会議室等を備えています。KOILは柏の葉オープンイノベーションラボ(Kashiwanoha Open Innovation Lab)の頭文字をとってネーミングされました。

■ ディレクター3人による「X-LAB サマー・プログラム」の意義と期待へのコメント

隈研吾氏(東京大学教授)

2020年を目前に控え、2017年というのはさまざまな意味での「変わり目」とと言えます。建築に従事する私たちには一体何ができるのか。私たちができること、その輪郭がさまざまな分野の人たちが世界中から一堂に会することによって見えてくれば、大変意義があるものになるのではないかと思います。

出口敦氏(東京大学教授)

新たに開発されたテクノロジーが、私たちの生活を本質的なレベルでどのように変えていくのか、という点は、個々の技術開発を担っている他の工学系分野ではカバーできず、デザインしていくことが難しいと思います。サマー・プログラムに集まってくる、世界各国の学生のみなさんの構想力と創造力でデザインを創り出してほしいと思っています。

阿部仁史氏(UCLA 教授、X-LAB at UCLA 代表)

X-LAB サマー・プログラムの最大の問題提起とは、「建築はこれから向かっていく私たちの未来において、どれだけの重要性を持ち得るか」です。X-LAB サマー・プログラムによって、人びとが集まり、議論するためのプラットフォームを構築することができました。ここからどのようなアイデアや戦略が生まれるのか、楽しみにしています。

■公開プログラム(参加無料)の概要 ※登壇者は変更になる場合があります。

① グレッグ・リン氏 基調講演会

2017年7月31日(月) 19:00 ~ 20:30 (18:30 開場)

登壇者:グレッグ・リン (UCLA 教授、Greg Lynn Form)

梅澤 高明(A.T.カーニー日本法人会長)

阿部 仁史

会場:霞が関ビルディングプラザホール(東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 1 階)

② サマー・プログラム スタジオ 中間講評会

2017年8月4日(金) 13:00 ~ 17:00 (12:30 開場)

登壇者:隈研吾、出口敦、阿部仁史

ジェフリー・イナバ(UCLA アジャнкт・プロフェッサー)

キヴィ・ソタマー(アアルト大学デジタル・デザイン・ラボ創設者)

平野利樹(Toshiki Hirano Design)

カズ米田(Bureau0-1)

竹内雄一郎(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

会場:柏の葉カンファレンスセンター ルーム 1, 2(千葉県柏市若柴 178-4)

③ レクチャー&プライマリー・セッション

2017年8月5日(土) 15:00 ~ 18:00 (14:30 開場)

登壇者:隈研吾、ジェフリー・イナバ、キヴィ・ソタマー、豊田啓介(NOIZ)

会場:霞が関ビルディングプラザホール(東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 1 階)

④ ラウンドテーブル・セッション

2017年8月7日(月) 19:00 ~ 21:00 (18:30 開場)

登壇者:ジェフリー・イナバ、キヴィ・ソタマー、平野利樹、カズ米田、

落合陽一(筑波大学 学長補佐・図書館情報メディア系助教)

会場:慶應義塾大学三田キャンパス 東館 8 階ホール(東京都港区三田 2-15-45)

⑤ 最終講評会

2017年8月12日(土) 13:00 ~ 17:00 (12:30 開場)

登壇者:隈研吾、出口敦、阿部仁史、ジェフリー・イナバ、キヴィ・ソタマー、平野利樹、カズ米田、

ヘザー・ロベージュ(UCLA 准教授)中西忍(日本科学未来館事業部長)

今村創平(千葉工業大学教授) 他

会場:東京大学本郷キャンパス 工学部 1 号館 15 教室(東京都文京区本郷 7-3-1)